



第20期(第1回)中国瀋陽市の環境技術研修生を受け入れました

市では、平成9年から友好都市である中国瀋陽市からの環境技術研修生を受け入れています。今年度は、環境保護局の職員を行政職員研修・技術職員研修の2回に分けて、各回2名を受け入れます。

第1回目(7月3日～7日)では、市の環境行政を知るとともに、市内の環境関連企業の視察等を通じ、先進的な環境技術について学びました。

この取組を通して瀋陽市の環境施策の推進や両都市の友好関係がより一層強化されることが期待されます。なお、第2回目は11月5日～25日を予定しています。

※本研修は今年度の第20期(第1回)終了時点で延べ43名の研修生を受け入れています。



【環境局長(写真中央)と記念撮影】

問い合わせ：環境局環境総合研究所事業推進課 TEL 276-9118 FAX 288-3156



ポイ捨て禁止及び路上喫煙防止等啓発キャンペーン ～ポイ捨てをしない させないまちづくり～

地域の環境美化の向上を目指し、環境省が主唱する「環境衛生週間」(9月24日から10月1日)行事の一環として、「市内統一美化活動」と連動し、「ポイ捨て禁止及び路上喫煙防止等啓発キャンペーン」を実施します。

- 日程：平成29年9月24日(日)
(JR稲田堤駅は9月27日(水)、
小田急新百合ヶ丘駅は9月22日(金)に実施。)
※開始時刻等については下記までお問い合わせください。
- 場所：JR川崎駅東口(川崎区) JR川崎駅西口(幸区)
JR武蔵小杉駅北口(中原区) JR武蔵溝ノ口駅北口(高津区)
東急鷺沼駅(宮前区) JR稲田堤駅(多摩区)
小田急新百合ヶ丘駅南口(麻生区)



【川崎駅東口でのキャンペーンの様子】

問い合わせ：環境局減量推進課 TEL 200-2580 FAX 200-3923



平成28年度川崎市化学物質環境実態調査結果

市では、化学物質の環境リスク^{*1}を評価するために、市内の事業所から大気中に排出されている化学物質の環境実態調査を実施しています。

平成28年度の調査結果は次のとおりです。この結果を用いて環境リスク評価を行い、市ホームページ等で公表していきます。この環境リスク評価を推進するなど、引き続き、化学物質対策に取り組んでいきます。

物質名	調査結果(μg/m ³)	主な用途等
コバルト及びその化合物	0.000083～0.00074	合金材料、リチウムイオン電池
モリブデン及びその化合物	0.00031～0.0037	特殊鋼の原料、電子材料、抵抗体
ジシクロペンタジエン	ND	EPゴム、不飽和ポリエステル樹脂の原料
アセトニトリル	0.70～3.3	溶剤、有機化合物の原料、分析用試薬
α-メチルスチレン	ND～0.052	樹脂改質剤
1,2-エポキシブタン	ND～0.012	トリクロロエタンの安定剤、医薬・農業原料

表中の数字は最小値～最大値を示しています。 ND：検出下限値^{*2}未満

※1 環境リスク：環境中に排出された化学物質が人の健康や生態系へ悪影響を及ぼす可能性

※2 検出下限値：各分析方法で調査対象物質を分析したとき、安定した精度で検出できる最低濃度

詳しくはホームページをご覧ください。

平成28年度川崎市化学物質環境実態調査結果 [検索](#)

化学物質の環境リスク評価結果報告書 [検索](#)

問い合わせ：環境局環境管理課 TEL 200-2532 FAX 200-3922